

むらづくり支援データベースの構築

安中 誠司・浅井 悟

(東北農業試験場)

Development of Relational Database System for Rural Planning

Seiji YASUNAKA and Satoru ASAI

(Tohoku National Agricultural Experiment Station)

1 はじめに

定性的な情報を扱うケースが多い地域づくりの分野では、データベースの構築利用が遅れており、試験研究機関等において整理・報告された地域づくりの事例情報の有効利用が図られていない。そのため、地域づくりを支援する情報提供は、個々の研究者の知りうる範囲での優良事例の紹介や、農業センサス等の統計資料に頼っているのが現状である。そこで、地域づくりに関連する情報を整理活用し、より効率的に地域づくりの支援を行い得るデータベース（以下DBとする）の構築を試みた。

2 目的と意義

地域づくりに関して、現場の担当者や研究者は多様な情報ニーズを持っている。しかし現状では、これらのニーズを充足させるために多くの時間と労力を要する。また、既存のDBに頼ろうにも、農業生産関係の定量データ以外は効率的な利用環境が整備されておらず、文献DBにしても事例対象地域名での検索をすることが困難である点で、その利用には限界がある。さらに、多くの時間と労力をかけて得られた知識は共有化されることが通常少ない。地域づくりに関連した情報をDBとして一括管理する意義は、これらの点を改善する点にある。

また、従来の地域活性化研究に対する批判として、「個別の優良事例の紹介や分析に終始し、成果の一般化へ向けた取り組みが弱い」というものがある。一般化を行うには事例の量的な蓄積が不可欠であるが、現状では、事例の蓄積は研究者個人が単独で行っているため、多くの時間と労力を要する。事例情報のDB化は、成果の一般化の基礎となる定型化された情報の蓄積と継承を可能にし、研究の発展を支援するという意義を持っている。

3 概要と特徴

東北農試農村計画部では、地域計画研究室と情報処理研究室が中心となって、地域づくりを支援するために有用と思われる情報のDB化を行っている。当初は優良事例DBのみであったが、それだけでは対象地域に偏りが発生する。そこで、優良事例DBを補完強化し、東北地域全体をカバーできる情報を市町村単位で収集、DB化し、それら全体でむらづくり支援DBとした。データソースとしては、既存

の市販データ、東北農試農村計画部が調査等で収集した情報、東北農政局が作成若しくは保管していた情報などを使用している。なお、DB管理用のソフトとしては、管理工学研究所の「桐 Ver.4」を利用している。なお、データベース個々の具体的な特徴は表1を参照されたい。

この中で、地域活性化優良事例DBは支援DBの核となるものであり、東北農政局が主催する東北地域むらづくりコンクールへの各県からの推薦調書に基づき、地域づくり推進組織をはじめとする地域グループの活動状況、補助事業やイノベーション（地域の現状を変革しようとする多種多様な取り組み）の導入経過、イベントの開催や農村交流活動の実施状況などが蓄積されている。さらに、総合表示用プログラムを利用すると、地域特性等による事例の検索、該当事例における地域づくり活動の概要の表示、外部DBの参照（地域水田農業優良事例DB及び関連資料DB）が可能となっている。

また、むらづくり支援DBには、大別して、「現場支援的な利用」「研究支援的な利用」「研究的な活用」の三つの使い道がある（表2）。任意の市町村と類似した地域を検索して参考となる優良事例をリストアップしたり、調査予定地に関する情報を検索表示させて事前に概要を把握するといったことができる。また、DBとして利用する以外にも、必要な項目を結合させて集計分析用のデータを準備することも容易にできる。

4 おわりに

むらづくり支援DBの構築は、現状では試行段階である。優良事例DBにしても、そのままの形で公開され共有されていくまでに至っていない。汎用的なDB構築を目指す場合、多様な問題意識と情報ニーズをもった多くの人々の参加が不可欠である。そのため今後は、今回構築したむらづくり支援DBを一つのプロトタイプとして、多くの研究者、ユーザの参加によって汎用化を図っていきたい。

表1 むらづくり支援DBの概要等

DB名	内 容	特 徴	データソース
地域活性化優良事例DB	地域づくり推進組織をはじめとする地域グループの活動状況、補助事業やイノベーションの導入状況、イベントや農村交流活動の実施状況など	むらづくり推薦調査という文書情報をベースとしている。多岐にわたる情報を7つのテーブルに分けて入力してプログラム上で参照する。地域の主要作目については類義語での検索が可能。	S54以降の東北地域豊かなむらづくりコンクール推薦調査
地域水田農業優良事例DB	東北6県共同研究「地域水田農業」において取りまとめられた代表事例の概要	データソースの様式が統一されていて情報の漏れがない。含まれる情報がかなり詳細なので利用価値が高い。	東北農業経営・農村生活研究資料2「水田農業再編の展開ルート」東北農業試験場農村計画部1990.1
関連資料DB	どの地域が既存の文献資料に引用されているのかを入力	地域名により検索ができる。市販刊行物以外に資料をサポート。	農村計画部資料、構造改善協会コンサルタント意見書、普及情報センターの課題指定情報シリーズ他
地域活力DB	東北農政局が作成した市町村別の地域活力指標データを活用。17の基礎指標が、農業生産、生活環境・資源、農村生活の3分野にわたり設定されている。	センサスにはない生活分野に関する統計指標が多く含まれている。データソースが既に偏差値化されていたので指標間の比較も可能である。	東北農政局統計情報部「東北の地域活力（農山漁村地域活力指標）」平成6年3月
住民参加実態DB	地域計画研が東北管内中山間地域市町村に対して行った住民参加行政の実態に関する質問紙調査の結果をDB化したもの	通常は集計分析用にしか使わない調査データをDB化して情報として有効活用を図った。	東北農試地域計画研「住民参加行政に関する中山間市町村の取り組み実態調査」（平成6年10月実施）
地域特性DB	東北管内市町村別の農業地域類型、地域指定状況などを入力	東北管内市町村に関する変動しにくい基礎的な類型情報を一元化し、他のDBの中にいちいち基礎的な情報を入力しなくても済むようにした。	農水省統計情報部「農山漁村地域活性化要因調査報告書」H5.3 特定農山村法研究会編「実務者のための特定農山村ハンドブック」H6.3 農水省統計情報部「農林統計に用いる地域区分」H2.11
地域特産DB	東北管内各市町村の地域特産品を入力		NHK情報ネットワーク編「NHKふるさとデータベース／東日本編」NHK出版 1992.3
地域が誇る資源DB	東北管内各市町村の日本一として誇れるものを入力		同上

表2 むらづくり支援DBの利活用例

利用形態	利用DB	利用方法
現場支援的利用	優良事例DB 住民参加実態DB	他の地域がどのような取り組みをしているかを調べ、東北における地域づくりの動向を把握する
	地域活力指標DB	該当市町村の地域活力状況を把握し、他の市町村と比較した相対的な優位性と劣位性を調べる
	地域特性DB 優良事例DB 住民参加実態DB	似たような条件にある地域（例えば、過疎化の進んでいる地域、農家率の高い地域、豪雪地帯等）の検索を行い、参考となる優良事例や住民参加活動をリストアップする
	優良事例DB	特定の事業や作目を導入した地域を検索したり、土地利用調整や生活改善などの個別の活動が行われている事例を検索し、どのような組織が活動を担っていてどの地域でそれらの活動が活発かを調べる
	支援DB全体	調査予定地の市町村の概要、地域内の優良事例、関連資料のリストを収集し、調査時のバックデータとする
研究支援的利用	地域特性DB 優良事例DB 住民参加実態DB 地域活力DB	調査目的に即した条件の市町村、優良事例（集落や組織）を検索し、調査候補地としてリストアップする
	地域活力DB 住民参加実態DB 優良事例DB	必要な項目を選んで一覧表を作成し、地域づくりの動向を把握する参考資料とする
	優良事例DB	仮説の一般化と検証を行う参考にする
	住民参加実態DB 地域活力DB 地域特性DB	地域特性が地域活力に与える影響、住民参加と地域活力の間の相互関係などを分析
研究的活用	優良事例DB	地域類型、農家率、構成戸数などが地域づくりの組織体制に与える影響などを分析